

あんずが繋ぐ“ちくま”と“てらたま” 東京都中小企業診断士協会城東支部(農園部) 佐々木 静



皆さん、ウッドデッキを挟んで新たに2本の木が植えられたのにお気づきですか？この木は杏仁専門メーカーである株式会社M・アバンスの岸江社長のご希望で植樹された、長野県千曲市特産のあんずの木です。

長野県はあんずの生産量全国第2位で、その中でも千曲市ではあんずの加工品が多く生産されていますが、その種はすべて廃棄されています。岸江社長はその種を活用して純国産杏仁オイルを生産し、地域を活性化させる活動に精力的に取り組んでおられます。

これは内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2021」で地方創生担当大臣賞を受賞したSDGsにもつながる注目の取組です！農産物を使って地域を活



性化…なんだか寺島なすで地域を元気にするたもんじ交流農園の活動に似てますね！

シンボルツリーとして東京のこの地にあんずの木があることが、千曲市との交流のきっかけになることを期待しています。2年後の春には、たもんじ交流農園でもピンク色のきれいなあんずの花が見られる予定です。お楽しみに！

“てらたま農園部から” 再開! 第8回 ～寺島なすの季節スタート!～



たもんじ交流農園、東向島駅前のプランター、茄子之介プランターで寺島なす栽培がスタートしました。

栽培が5年目となる今年、農園に64株、駅前に9株の寺島なすを植えました。毎日農園部メンバーが交代で水やり、なすの観察をしています。日曜日に改めて皆の目でチェックし、定期的な追肥や病気予防の対策などを行っています。農園では2畝を実験区画として寺島なすとニラ、ネギ、マリーゴールドを共植えてコンパニオンプランツの効果を試しています。敷きわらも施しました。



日々、寺島なすを見ていると一株一株の違いがわかります。他と比べて小さかったり葉が縮れて元気がなかったりする株が、数日後には見違えるほど大きく元気に成長しているのを見ると心から嬉しくなります。アブラムシを捕食してくれるテントウムシを見つけると益虫がもっと増えてほしいと願います。生命力溢れる農園の中に身を置いていると発見、気づき、ワクワク感が時間が経つのを忘れてしまいます。今年も寺島なすの夏が来ます。

水口アドバイザー来園日…6/26(日)、7/23(土) 10:00～16:00 | 農園部作業日:毎週日曜 10:00～
農園にてワークショップの参加募集！「デッキの日避けテントづくり」「入口竹ゲートづくり」「堆肥場の蓋づくり！」それぞれ 日曜日午前中！ 連絡先 090-3222-2688 (牛久)

第33回 今、ハマってます!

石橋法さん(区画 12-2 ②)の場合



最近、料理にハマってます。仕事が休みの時は、こちらの写真にあるような色々な調味料をカップ橋に仕入れに行き、買い求めてきたもので料理を作っています。得意な料理はカレーシチュー。先ず



タマネギの皮を溜めておき、よく乾燥させた上で、それをナベに入れ、煮出してカレーを作ります。最後の仕上げにリンゴを擦って入れ、さらに隠し味に切り干し大根を刻んで入れると、家族にはすごく美味しいと言われ好評です。

あとこちらの写真のネコにハマっています。このネコは、3年前荒川の土手で見つけたネコで、見つけたときは、ほんとに小さな子ネコでしたが、今ではこんなに大きく育ち、家族の一員として一緒に暮らしています。

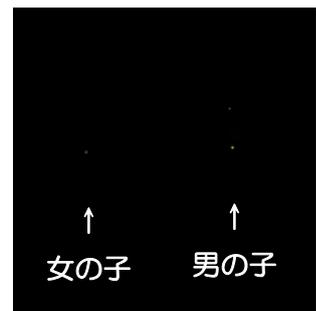


今年でたもんじ交流農園を借りてから三年が経ちました。今年もトマト3種類とキュウリ3種類を育てています。農園で手入れをしていると、いろんな方々からためになる話を聞かせて頂いたり、採れたての野菜の物々交換をしたりできて、とても楽しんでいます。今後もいろんな方と交流していきたいと思っています。



たもんじ蛍プロジェクト、第一回蛍鑑賞会。

5/29(日)夕刻、たもんじ交流農園でホタルネットを囲んで、たもんじ蛍の第一回鑑賞会が開催されました。これは前日の夜7匹の女の子が舞っているのを見たという牛久さんの掛け声で開かれたもので、この夜は男の子数匹も加わって、11組のご家庭で半年間育てて頂いた幼虫が、蛹となって羽化して、明るく光って、飛んでいるのを確認できました。初めて蛍の灯を見る子供達も思わず感動! 素敵な夜になりました。今年度は、ピオトップを清流化して、たもんじを、「墨田区の蛍の名所」にする無謀な? 夢に挑戦します。(末林記)



大抽選会実施! 新たな農園メンバー誕生!!

11組の応募があった「ハーフ×2区画、ないしフル×1区画」の大抽選会が6/5(日)11時、ウッドデッキにて行われ、厳正なる「あみだくじ」の結果、新たな農園メンバーが一組(ご夫婦/フルサイズを選択)誕生した。また同時に募集した「車イス用プランター×3」および「馬蹄型プランター」計4区画には、車イスを使用している2団体から応募があり、無抽選で各2区画の試行的使用が決まりました。(新メンバーは次号にてご紹介予定です)(末林記)



たもんじ交流農園便り
No.51 般 2022.6.20 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団



Facebook